

【イベント名】

令和4年度いきいきキャリアアップ事業in岩沼

【開催概要】

開催日	時間	場所	参加人数
令和5年1月25日（水）	13:30～16:30	岩沼西コミュニティセンター 多目的室	23名 ※うち託児利用者2名
主催 宮城県 共催 岩沼市			

プログラム

13:30～	開会挨拶
13:35～	第一部 「ゲストトーク」
	①平間 香織 氏
	②吉田 愛子 氏
15:05～	質疑応答
15:15～	休憩
15:25～	第二部 「ワークショップ」
	ファシリテーター 浅利 賀名衣 氏
16:25～	アンケート記入
16:30	閉会

ゲスト



①株式会社よつば 専務取締役 平間 香織 氏

（略歴）宮城県亘理町出身。2男2女の母。調理師免許取得後、調理関係で働いたのち、自宅にて料理教室『よつばkitchen』を開講し生徒は約100名。2015年8月に『よつばBakery』岩沼をオープンし、2020年8月長町店、10月ランチ仙台店をオープン。「よつば」は、お子様4人に由来しており、子どもたちのために作っていたお料理・パンが原点。



②株式会社エフエムいわぬま 放送課主任 吉田 愛子 氏

（略歴）小学6年生から岩沼市で過ごし、仙台の学校を卒業後、一度宮城県を離れ、県外で会社員として数年勤務し、その後岩沼に帰郷。2009年から「エフエムいわぬま」で収録番組や生放送、イベントの司会などを務める。番組は、Iスマイル（木曜日）・スマイルジャンクションを担当。

第一部「ゲストトーク」

①平間 香織 氏「よつば Bakery」

亘理町の米農家に生まれ、パンとは無縁ともいえる環境でしたが、子どものころに具合が悪くした際に母が買ってくれたことがパンとの出会いだったと記憶しています。社会人として初めて病院で調理師として働いていましたが、その職場では食事をすべて手作りにすることにこだわっていました。「最後の食事になるかもしれないから」と、丁寧に心を込めて作る環境であり、手作りの料理が素晴らしいと思った原点だと思います。その後、結婚し、現在は子ども4人です。子どもたちのママ友との集まりで、手作りの料理やお菓子を食べてもらう機会があり「教えてほしい」と言われたことがきっかけで、よつばkitchenをオープンしました。料理教室では作った食品を販売することができなかったため、パンを販売できるよつばBakeryのオープンを決めました。しかし、ほぼ一人で作業し、作る数には限界があり、毎日並んでも買えないお客様がいました。お店を始めるといことは大変なことだと痛感しながらも、工夫しながら続けていました。そんな中、夫婦でお店をやることになり、できることが格段に増え、たくさんの出会いがありお店を大きくすることができました。

子どもが4人いて大変なこともありますが、毎日が発見の連続で、周囲と協力して育児も家事も仕事もすることができて充実しています。子どもたちは、忙しい両親をみているので、なんでも自分でできるようになってきています。家族みんなで協力しながら、お互いに支え合い、また、家族だけでなく、周囲の方にも支えられてここまでやってこれたことに感謝しています。大変なことはたくさんありますが「この道を選んで進んで来てよかった」と自信を持って言えるように、日々過ごしています、とお話いただきました。



②吉田 愛子 氏「私の働き方」

今年、開局25周年のエフエムいわぬまは、岩沼市が歴史的に何度となく水害の被害に遭い、その度に甚大な被害を受けた経緯から放送による情報の発信に着目し、また、岩沼市の様々な話題や地域の出来事などを伝える市民向けのコミュニティFM局として開局しました。東日本大震災の時は発災直後から途切れることなく放送を続け、安否情報や生活情報、支援情報などを発信していました。仕事内容は、通常の放送業務のほかに、イベントの司会や事務仕事もなんでもこなします。社内には性別関係なく分け隔てのない環境で、子育て中の男性も女性も、お互いに助け合いながら仕事をすることができています。

また、パーソナリティとしての経験を活かし、この研修会のために、岩沼市内の3名の働く女性にインタビューを行いましたので、動画で紹介いたします。子育て経験のある方からは、一人ではなく協力してくれる人がいたこと、子どもはいつ具合が悪くなるか予想できないため、いつでも他の方に自分の仕事の引継ぎができるように、常に段取りをするようになり、仕事も手際よくやるようになっていたことなど、お話を聞くことができました。

おわりに、これからは上手に「ON」「OFF」を切り替えて、これからも今の自分、未来の自分のために、仕事もプライベートも充実させていきたいです、とお話いただきました。



第二部「ワークショップ」

テーマ：キャリアについて考える ファシリテーター：株式会社cue 代表取締役 浅利 賀名衣 氏

3～4名のグループワークで、ワークシートを使用しながら「これまでのキャリアの棚卸」、「これからのキャリア」を考えるワークを行いました。

自己紹介後、「これまでの棚卸」（何歳くらい・その時の仕事内容・どのようなスキルを使っていたか・苦手だったことや、改善したかった事・印象深い出来事）をワークシートに記入し、自分自身を振り返るワークを行いました。一人ひとり発表し、グループの方から長所のフィードバックを受けて気づいたことを記入しました。その後、「これからのキャリアを考えるワーク」（目標の設定：何をいつまでに始めるか）を具体的に記入し、一人ひとり発表し、グループの方から長所のフィードバックを受け、それぞれが気づいたことを記入しました。初対面の方向士のグループも多くなりましたが、積極的に意見を交わし、いろんな他業種の方々の働き方、職場環境について学ぶ事ができて自社に生かせる場所は生かしていきたい、同じようなワークショップに参加してみたいという意見が聞かれました。

